

じんけん 人権まんが かいせつ 解説

わが国における高

齢者（65歳以上）の

占める割合は年々高

くなつてきており、

2015（平成27）

年には4人に1人が高齢者という、

超高齢社会が来るといわれています。

また、笠岡市の高齢化率は、

2007（平成19）年4月1日現在

で28・2%となつており、既に超高

齢社会が到来しています。

人は高齢になると、個人差はあり

ますが、素早い動きができなくなつ

たり、目や耳が不自由になつたりす

ることがあります。しかし一方で、

介護や手助けを必要としない元気な

高齢者もたくさんおられます。

人は年をとり、いろいろな経験を

積むことで、他人が持つていない貴

重な知識を蓄えていきますが、現在、

社会の中でそれを生かす場所や機会

に十分恵まれていたとはいえません。

そこで、地域や学校で高齢者の知恵

や経験を生かして、仕事やボランテ

ィア活動などで社会参加ができる環

境を整えていけば、高齢者は生きが

いを見つけることができ、快適でい

きいきとした人生をおくることがで

きます。

核家族が進み、おじいちゃんや

おばあちゃんと一緒に住んでいる家

庭は少なくなつてきています。高齢

者と接する機会が減つてきている今

すべての世代がお互いに理解し助け

合つていくには、子どもから高齢者

までの幅広い世代が一緒にふれあい、

交流を深めていくことが大切です。

岡山県人権教育研究大会で 日ごろの取り組みを発表

8月9日と10日の2日間、第2回岡山県人権教育研究大会（岡山県人権教育研究協議会主催）が岡山市内で開催され、笠岡市からは3人の発表がありました。

料治聡子さん（吉田保育所）は「さがそう みんなのたからもの」自分を好きになり 友だちを好きになり みんなを好きになる」と題して、保育所での出来事から教えられた気づくことの大切さ、保育者と子どもが正対し共感することの大切さについて報告されました。

上村千栄さん（新山小学校）は「よさを認めあいながら、主体的に生きる子どもの育成をめざして」地域とのかかわりを通して」と題して、地域を愛する心や自尊感情を育むための、地域と学校が連携して活動した取り組みについて報告されました。

西江律子さん（陶山公民館）は「金浦中学校区における人権教育の取り組み」陶山公民館活動を通して」と題して、地域の子どもを地域で育てる取り組みを通して人権の尊重されたまちづくりについて報告されました。

吉田文化会館で 証明書などがとれます

交付を受けられる証明書

○住民票の写し

○印鑑登録証明書

○所得証明書

○固定資産評価証明書

○軽自動車税納税証明書

※印鑑登録証明書の請求には、「かさおかカード」が必要です。

※本人確認をさせていただきます。

利用時間：8時30分～17時

※土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く。

吉田文化会館運営委員会

7月9日、吉田文化会館運営委員会が開催されました。

まず、運営委員の異動に伴い空席となつていた副委員長の選任が行われ、西井保委員が選出されました。

引き続き、平成18年度事業報告及び平成19年度事業計画について審議されました。委員の皆様より活発なご意見をいただき、議案はすべて原案どおり承認されました。

問合せ

吉田文化会館

☎01069

よしだ文化会館だより ④